

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年5月30日(金) 13:30~15:30
- 3 開催場所 岐阜工業高等学校 記念館2階 大会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者 委 員
- | | |
|----------|------------------------|
| 安藤 博之 | 本校 育友会 会長 |
| 岩田 愛 | 本校 育友会役員(副会長) |
| 堀口 里奈 | 本校 育友会役員(副会長) |
| 田島 安子 | 安藤菓子店 店長 (書面決議) |
| 亀井 孝宏 | (株)光製作所 総務部 課長 |
| 黒田 昌彦 | (株)黒田製作所 代表取締役 社長 |
| 古田 流一 | 岐阜プラスチック工業(株) 人材開発部 部長 |
| 渡邊 伸一 | 名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長 |
| 学校側 堀 秀樹 | 校長 |
| 関谷 博子 | 事務部長 |
| 山田 智徳 | 副校長 |
| 籠橋美和子 | 教頭 |
| 岩口 一平 | 教頭 |
| 関口 健 | 教務主任(全日制) |
| 高橋 宏幸 | 教務主任(定時制) |
| 山口 敦 | 生徒指導主事 |
| 増井勇一郎 | 進路指導主事 |
| 岩佐 昌尚 | 工業教育部長 |
| 小澤 智也 | 研究推進・広報部長 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和7年度教育指導の重点及び学校経営計画(全日制・定時制)

(2) 各分掌の重点・取組み(全日制・定時制)

意見1: 実習の授業中、生徒の目が輝いており、「一回やってみようよ」「こうしようよ」といった創意工夫を行っている場面を何回か見た。企業では、本校の卒業生は、若手もベテランもコアとなり創意工夫をしていくメンバーである。今後も創意工夫できる生徒を育ててほしい。

意見2: 生徒達は和気藹々ともものづくりに取り組んでおり、自分が経験してこなかった工業高校の学びをうらやましく感じた。先生達との関係も良好である。

意見3: 地域や購買で、三世代にわたる生徒の姿を見てきた。今は生徒が落ち着いてい

る。コロナ以降、購買の販売ルートを整備したので、さらにトラブルが起きなくなった。学校では、先生方が生徒を褒めつつ、上手く指導している。

意見 4：本校の取組みにより、ものづくりが好きな子どもが増えることを願っている。企業も、高校での指導を受け継いで、よりよい現場を作っていきたい。

意見 5：我々の世代と今の生徒では環境が随分変わっている。今、管理職に就いている世代は、叱られて仕事を覚えてきた。今は、新入社員、若手社員に対し叱ることができない時代だ。学校では、生徒がミスした時、どのような指導を行っているのか。

⇒生徒自身に気付かせる発言をしていくことが重要だと考えている。失敗した、ミスしたことにより、被害があることを客観的に伝える。生徒にとって、失敗が次の成功につながるように、どうすべきか考えるように、論し、促している。

意見 6：企業で採用関係に携わっている。学生の人数が減り苦慮している。今日の説明で、中学生がさらに何百人も減っていくことを知り驚いた。本校は魅力ある高校で、県外大手企業からの求人も多い。地元企業は、学生をひきつける、魅力のある会社にしていかないといけない。学校でも、地元でこういう企業があると知ってもらおう活動を増やしてほしい。

⇒進路情報は多くの機会を活用して、生徒や保護者に伝えている。また岐阜県内には、世界トップを誇る技術を有し、ヒット商品を生み出している企業が数多くある。今、課題研究で、ヒット商品となった要因や、商品化までのヒストリーについて取材し、ハンドブック化し、地元の小中学生に配布する、という取組みを始めている。工業高校生自身の目線で、地元の企業を理解する機会を作っていきたい。

意見 7：授業参観で各部屋を回ったが、ゴミが落ちておらず、きれいに整理整頓されている。旋盤等危険な機械も扱い、整理整頓が安全につながる。今後もきれいな学校を保ってほしい。

意見 8：実習科目は少人数で非常に手厚く指導を受けている。高校で学んだことが後に就職で生きる点も素晴らしい。中学校の高校説明会で、本校の魅力を中学生や保護者にもっと伝えてほしい。そうすれば、中学生は成績だけで高校を選ぶのではなく、本校を選択肢に入れていくはずだ。

意見 9：我が家もそうだが、兄弟で本校に入学している家庭は非常に多い。一人入学すると、魅力を知り、下の子どもも入ろうと考えるようになる。それくらい魅力があるという点をアピールするとよい。

意見 10：授業では、生徒同士がお互い、協力や相談、話し合いをしながら学んでいた。コロナの時には見られなかった風景で、本当に素晴らしいという印象を持った。本校が目指す満足度日本一の学校になるため、学校の職員と、育友会、保護者、地域の皆、地域の会社とともに、今後も取り組みたい。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基方針について承認が得られた。

協議では、生徒の様子や本校の取組みについての意見、および今後の発展への期待が多く寄せられた。本会議をふまえ、目標の達成をめざして学校運営方針を実践するとともに、本校の魅力を中学生や地域に広く伝える取組みを強化したい。